

リネゾリド点滴静注液 600mg「日医工」

【この薬は？】

販売名	リネゾリド点滴静注液 600mg「日医工」 Linezolid Intravenous Infusion 600mg
一般名	リネゾリド Linezolid
含有量 (1袋中)	600mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、オキサゾリジノン系合成抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、感染症の原因となる細菌の増殖を阻止し、炎症症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

○〈適応菌種〉

本剤に感性のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）

〈適応症〉

敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎

○〈適応菌種〉

本剤に感性のバンコマイシン耐性エンテロコッカス・フェシウム

〈適応症〉

各種感染症

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にリネゾリド点滴静注液「日医工」に含まれる成分に対して過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・貧血、白血球減少症、汎血球減少症、血小板減少症等の骨髄抑制が確認されている人
 - ・骨髄抑制作用を有する薬剤との併用が必要な人
 - ・この薬を使う前に長期にわたり他の抗菌薬を使用していた、あるいはこの薬と併用して使用する人
 - ・14日を超えて本剤を使用する可能性のある人
 - ・体重40kg未満の人
 - ・腎臓に重度の障害がある人
 - ・血液透析を受けている人
 - ・肝臓に中等度または重度の障害がある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 過去に抗生物質等でアレルギーをおこしたことがある人は、必ず医師または薬剤師に伝えてください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

- ・使用量、使用回数等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。
- ・グラム陰性菌等を含む複合感染症の場合やこれらが疑われる場合は他の抗菌薬と併用されます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・骨髄抑制があらわれることがあるので、定期的（週1回を目安）に血液検査が行われます。
- ・アシドーシスがあらわれることがあるので、吐き気、嘔吐（おうと）の症状が繰り返しあった場合は、ただちに医師に連絡してください。
- ・低ナトリウム血症があらわれることがあるので、定期的に血液検査が行われます。
- ・まれに発熱、腹痛、白血球増多、粘液・血液便を伴う激症下痢を主症状とする重篤な大腸炎である偽膜性大腸炎があらわれることがあります。この薬の使用後または使用後2～3週間までに腹痛があったり、頻繁に下痢を経験したりする場合は、ただちに医師に連絡してください。

- ・28日間より長くこの薬を使用した場合、視神経障害があらわれることがあり、さらに視力喪失に進行する可能性があります。視力低下、色覚異常（色を見分けにくい）、霧視（目がかすれる）、視野欠損（視野の中に見えない部分がある）のような自覚症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・チーズ、ビール、赤ワイン等のチラミンという物質を多く含む飲食物を大量に食べたり飲んだりすることは控えてください。飲食物の影響については医師または薬剤師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
骨髄抑制 こつずいよくせい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸（どうき）、息切れ
代謝性アシドーシス たいしゃせいアシドーシス	頭痛、眠くなる、意識の低下、深く大きい呼吸
視神経症 ししんけいしょう	視力の低下、中心部が見づらい、目のかすみ、目を動かすと痛い
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
腎不全 じんふぜん	尿量が減る、むくみ、体がだるい
低ナトリウム血症 ていナトリウムけっしょう	吐き気、頭痛、嘔吐、けいれん、意識の低下
偽膜性大腸炎 ぎまくせいだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、寒気、出血が止まりにくい、冷汗が出る、ふらつき、むくみ、体がだるい、けいれん、疲れやすい、力が入らない、脱力感
頭部	頭が重い、頭痛、眠くなる、意識の低下、めまい、意識の消失
顔面	鼻血、顔面蒼白
眼	視力の低下、中心部が見づらい、目のかすみ、目を動かすと痛い
口や喉	喉の痛み、歯ぐきからの出血、喉のかゆみ、咳、吐き気、嘔吐
胸部	動悸、息切れ、深く大きい呼吸、息苦しい
腹部	腹痛、食欲不振
手・足	手足が冷たくなる、手足のこわばり、手足のしびれ
皮膚	あおあざができる、全身のかゆみ、じんま疹
筋肉	筋肉の痛み
便	血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る
尿	尿量が減る、尿が赤褐色になる

【この薬の形は？】

性状	無色～黄色澄明の液
形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	リネゾリド
添加剤	ブドウ糖、クエン酸ナトリウム水和物、クエン酸水和物、pH 調節剤

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)
くすりの相談窓口の電話番号 TEL（フリーダイヤル）：(0120) 039-215
受付時間：9時～17時（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）